



今日から始める
自然観察

おめめパッチリ ハエトリグモ



す ぐろ たつ み
須 黒 達巳

慶應義塾幼稚舎教諭

家の中にもいる、とても身近なハエトリグモ。網は張らず、ぴょんと跳ねて虫を食べ、人間に悪さはしません。日本で確認されているハエトリグモはなんと100種以上! 今回は、大きな目を持ち、視力が優れたハエトリグモを観察してみましょう。



クモマハエトリ♀(体長約5mm)
本州の雜木林などでまれに見つかる。



マジロハエトリ♂(体長約7mm)
北海道から九州の草地でよく見つかる。



目は8つ。前の
2つの目が特
に大きい。

クモと言えば、長い足の
まがまがしい姿や「クモの
巣」をイメージする方が多
いと思います。そんなクモ
の常識をあざやかに裏切る
のがハエトリグモ。足は短め、
「クモの巣」はつくらず、そ
してつぶらな瞳のお顔がと
てもチャーミングです。



こんなところを探してみよう



家中



公園の
手すり



石垣

ハエトリグモは家の中にも現れます。明るい時に家の壁や天井をとどここ歩き回っているクモは、たいていハエトリグモです。野外に出ればたくさんの種類が待っています。特に、遊歩道の柵や手すり、そして石垣などの表面を歩いているのが見つけやすいです。

一般的に、クモは体から糸を出して「クモの巣」を作ります。これは餌にする虫を捕まえるための罠の役割をするものなので、正しくは「巣」ではなく「網」と呼びます。網をつくらずに素手で獲物を捕らえるクモもいますが、全体に共通するのは、ほとんどのクモは目がよく見えているということです。クモは振動や触覚、匂いを感じて周りのことを認識しています。そんな中にあって、ハエトリグモは大きな目としばしば抜けて優れた視力を手に入れたクモです。この目のおかげで、網に頼ることなく、虫を「見て」認識して飛びついで捕まえることができます。動きだけでなく、形や色、距離も認識できると考えられています。

顔つきやしぐさも魅力的ですが、姿形の多様さもアピールポイントです。仲間の認識でも視覚に頼っているためか、種類によって色や模様、形が非常にさまざまです。また、ちょっとした公園でも意外とたくさんの種類を見られます。東京の恵比寿の街中にある私の職場の敷地でも、これまでに17種を確認しています。身近な環境でもいろ

網を張るクモよりずっと目がいい

いっぽんてき
一般的に、クモは体から糸を出して

「クモの巣」を作ります。これは餌を

にする虫を捕まえるための罠の役割を

するものなので、正しくは「巣」では

なく「網」と呼びます。網をつくらず

に素手で獲物を捕らえるクモもいます

が、全体に共通するのは、ほとんどの

クモは目がよく見えていないということです。

クモは振動や触覚、匂いを感じて

周りのことを認識しています。そ

んな中にあって、ハエトリグモは大き

な目としばしば抜けて優れた視力を手に入

れたクモです。この目のおかげで、網

に頼ることなく、虫を「見て」認識で

飛びついで捕まえることができます。

動きだけでなく、形や色、距離も

認識できると考えられています。

顔つきやしぐさも魅力的ですが、姿

形の多様さもアピールポイントです。

仲間の認識でも視覚に頼っているため

か、種類によって色や模様、形が非常

にさまざまです。また、ちょっとした

公園でも意外とたくさんの種類を見ら

れます。東京の恵比寿の街中にある私

の職場の敷地でも、これまでに17種を



ハエをキャッチ！



ガ



ヨコバイ

<<< 情熱的なダンスで愛をアピール ❤

多くのクモは、目が良くないために、オスがメスに求愛をする際は「振動」を使います。メスのいる網の糸をゆらしたり、メスの体や近くを脚でトトと叩きます。しかし、ハエトリグモはここでもビジュアル路線。オスは脚を上げたり動き回ったりして、「ダンス」を踊ります。ハエトリグモの婚活がうまくいくかどうかは、ダンスの腕前にかかっています。



アリはどっち？

▶ 答えは35ページ



A



B

アリグモは、アリにそっくりなハエトリグモ。クモは常に糸を出しながら歩くため、手や葉などに乗せてから落とすと糸でぶら下がります。観察会でアリグモを手から落とすと「ほら、クモでしょ？」と納得してもらえます。

QUIZ ?

目で見ているのか確かめてみよう！

しぐさを観察していると、目の良さを実感できます。例えばカメラを向けると、くるっと振り向いてレンズを見つめ返します。ヤハズハエトリなど、細長い葉の上にいる種類は、手などを近づけると葉の裏にクルッと回って隠れます。

また、透明な容器の中に生きたハエなどを入れて目の前に置くと、一生懸命捕まえようとします。



容器の中の虫に興味津々

いろいろな種類に出合えると、観察のモチベーションが上がりりますね。ハエトリグモは春から初夏にかけて成熟する種類が多く、この辺りが観察の黄金期です。私たちが快適に感じる気候と一致するのもありがたいです。

最後に、クモと言うと毒が心配という方もおられると思いますが、ハエトリグモは基本的に人を咬みません（ほど大きな個体を指でつまみ上げたりすれば咬むかもしれません）が、私は経験がありません）。毒は、虫を殺すためのものを持っているますが、人には効きません。